

赤十字おこやま

NO. 14

Okayama Chapter



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

水の事故防止



水の事故に
気をつけて

■ 年間水難発生件数
1,353件

■ うち死者・行方不明者
722人

死者・行方不明者の
行為別に多い順

1位 魚とり・釣り

2位 水遊び

「令和2年における水難の概況」警察庁

水に落ちたら
助かるために
浮いて待つ！



水に落ちたら 助かるために 浮いて待つ！

水辺での活動が増える夏休みの時期には、毎年水の事故が多発し、尊い命が犠牲となっています。

事故の多くは海や川などで釣りや水遊びをしているときに発生しており、衣服や靴を着用したままの状態で泳ぐつもりがない時に、突然水に落ちてしまうことで、事故につながっています。

衣服を着て水に落ちた時、一番大切なことは「浮くこと」です。

水中で**衣服や靴を脱ぐ必要はありません。**

衣服や一般的なスニーカー等は浮くための助けになるだけでなく、けがの防止と保温の効果もありますので、脱がずに浮いて待ちましょう！

ライフジャケット(救命胴衣)

ライフジャケットは体を水に浮かせ、体温を保ち、岩などの危険物にぶつかってしまったときのショックをやわらげます。

- 水辺で遊ぶときには必ずライフジャケットを着用しましょう。
- ライフジャケットは活動に合ったものを選びましょう。
- 体に合ったサイズを選び、ベルトをしっかりとしめましょう。

服を着たまま水に落ちたら…体が浮くまで、ゆっくりあわてずに！

まずは水に浮くこと



身近な物を使って浮く



もし目の前で誰かが溺れていたら？

助けるために飛び込んでダメ！二次事故につながりやすく、非常に危険です。

119番通報をし、協力者を呼びましょう。

水中に入らず陸上から身近な物を使って救助しましょう。

Column

マスクをしたまま水に落ちたら呼吸ができない！？

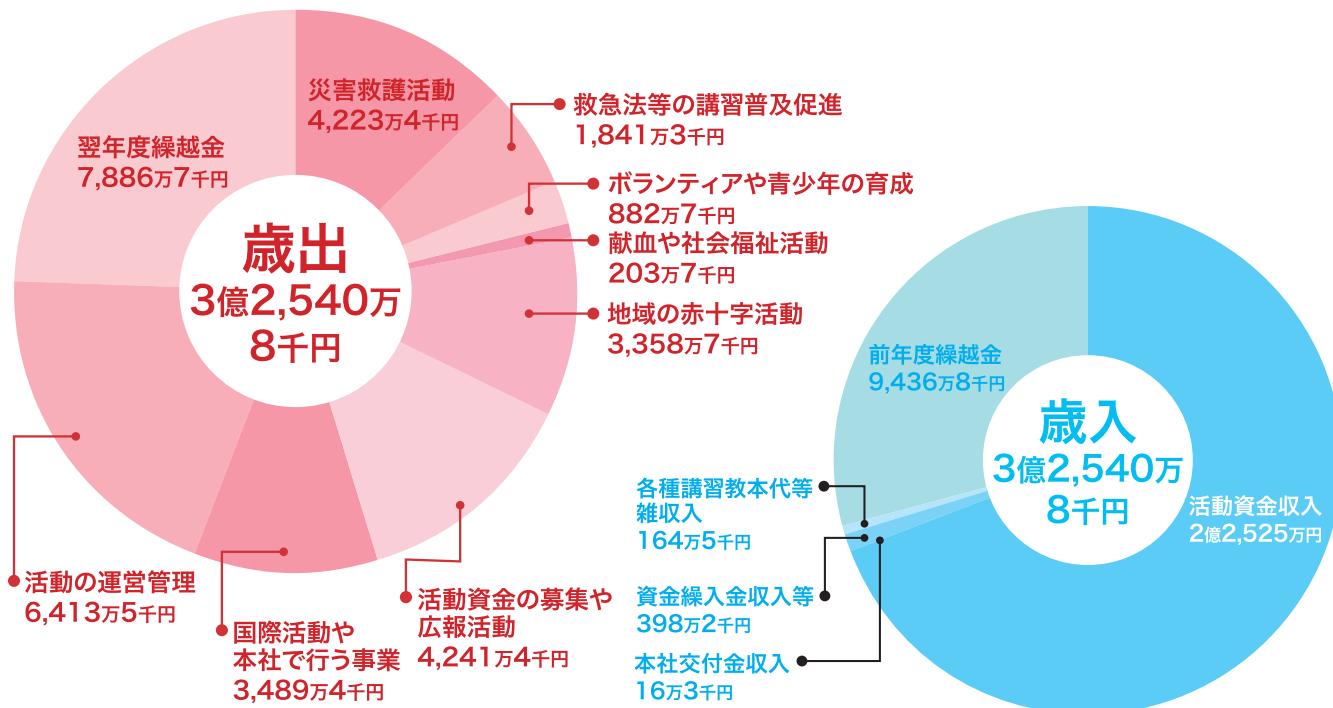
新しい生活様式に欠かせない「マスク」は、水に落ちたときに水分を含み、呼吸ができない恐れがあるため、非常に危険です。仰向けで浮いたら、「**マスクを外す！**」と覚えておいてください。



令和2年度決算概要を報告します。

岡山県支部の事業にかかる歳入歳出決算をまとめたものです。

(岡山県支部の決算は代議員会で承認されています。)



岡山県支部は、『人間のいのちと健康、尊厳を守る』を使命として、コロナ禍においても救護活動をはじめ救急法等の講習、赤十字ボランティア、青少年赤十字などの活動を推進しました。

また、新型コロナウイルス感染症への対応として、以下のことを行いました。

岡山県支部における新型コロナウイルス感染症への対応



アクリルスクリーンの配備

新型コロナウイルス感染症において最前线で重要な役割を担う保健所等に、飛沫の拡散防止を目的として配備しました。



正しい手洗い・マスク着用・うがいの動画制作

健康生活支援講習のプログラムを活用して、岡山シーガルズ、RSK山陽放送の協力により、啓発動画を作成しました。



差別・偏見を防止するための講習の開催

新型コロナウイルスを「正しく知って、正しく恐れる」ための講習を地域の公民館等において開催しました。

岡山県新型コロナウイルス感染症対策本部への協力

岡山県庁に設置された「新型コロナウイルス感染症対策本部」への支援として職員を派遣し、初期における運営補助にあたりました。



岡山県クラスター対策班(OCIT)現地医療提供チームとしての活動

クラスターが発生した医療機関及び高齢者施設の医療支援などに職員を派遣し、患者情報や時系列情報等の記録、電子化などの活動を行いました。



日本赤十字社 岡山県支部
Japanese Red Cross Society

〒700-0823 岡山市北区丸の内二丁目7番20号

TEL 086-221-9595 <https://www.jrc.or.jp/chapter/okayama/>